

岩手県感染症週報

平成25年第9週(2月25日～3月3日)

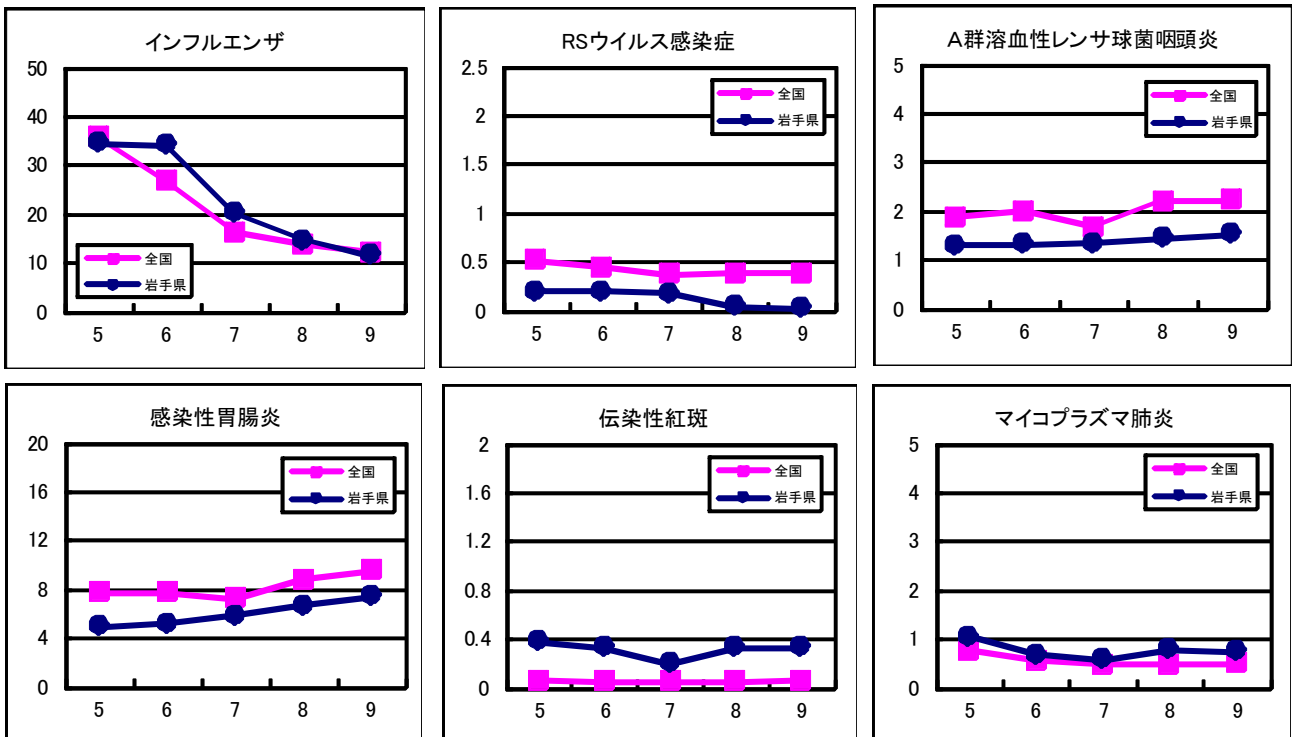
岩手県感染症情報センター

第9週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が4例（潜在性結核感染症例2例）ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・後天性免疫不全症候群の患者の報告が、1例ありました。患者は20歳代の男性です。
 - ・風しんは、関東地方で報告数が増えており、岩手県での発生の動向に注意が必要です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・インフルエンザは、4週連続減少しました。釜石、久慈および二戸地区で注意報値（定点あたり患者数10人）を下回りましたが、その他の7つの地区で注意報値を超えており、引き続き注意が必要です。患者の年齢層は、20歳以上の成人層が約40%を占め、特に60歳以上が11.5%と例年より多くを占めています。咳・くしゃみなどの症状がある場合にはマスクをするなどの咳エチケット、外出後の手洗いなどの予防対策が重要です。
 - ・感染性胃腸炎は、昨年12月に流行のピークを迎えた後、患者の多い状況となっているので、引き続き注意が必要です。最も重要で効果的な予防方法は、流水と石けんによる手洗いです。また、患者の吐物や便は家庭用漂白剤（ハイターなど）などによる適切な処理が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		5	6	7	8	9		
インフルエンザ	岩手県	34.58	34.19	20.23	14.66	11.55	↘	☆
	全国	35.82	26.7	16.31	13.9	12.26		
RSウイルス感染症	岩手県	0.2	0.2	0.18	0.05	0.03	→	
	全国	0.52	0.45	0.37	0.38	0.38		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.18	0.1	0.05	0.05	→	
	全国	0.26	0.29	0.25	0.25	0.29		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.3	1.33	1.35	1.45	1.53	→	☆
	全国	1.87	1.99	1.67	2.2	2.23		
感染性胃腸炎	岩手県	4.98	5.2	5.83	6.68	7.45	↗	☆
	全国	7.77	7.75	7.29	8.81	9.59		
水痘	岩手県	0.5	0.95	0.63	0.6	0.9	→	☆
	全国	0.98	1.29	1.04	1.28	1.06		
手足口病	岩手県	0.08	0	0.05	0.1	0.05	→	
	全国	0.19	0.17	0.17	0.19	0.18		
伝染性紅斑	岩手県	0.38	0.33	0.2	0.33	0.33	→	☆
	全国	0.06	0.05	0.05	0.05	0.06		
突発性発疹	岩手県	0.35	0.38	0.28	0.23	0.4	→	☆
	全国	0.46	0.46	0.41	0.45	0.47		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.85	0.63	0.5	0.83	0.83	→	☆
	全国	0.23	0.2	0.21	0.24	0.23		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.08	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.36	0.07	0.57	0.15	→	☆
	全国	0.5	0.47	0.39	0.42	0.47		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.01	0.03	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.05	0.68	0.58	0.79	0.74	→	☆
	全国	0.77	0.56	0.48	0.49	0.51		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.02	0.02	0.03		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					累計	全国	
	5	6	7	8	9	9		累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者数	3 (2)	5 (4)	3 (1)	4 (1)	4 (2)	37 (17)	348	3818
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	15
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	13	112
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	10
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	6
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	20
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	23
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	2
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	30
	デング熱	0	0	0	0	0	0	4	19
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	11
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	2	2	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	6	120	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 5	6	7	8	9	累計	9	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	13	148
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	5	34
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	1	0	1	0	0	2	4	88
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	3	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	0	0	1	2	34
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	1	11	198
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	3	10
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	11	144
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	19
	風しん	0	1	0	0	0	1	199	1303
	麻疹	0	0	0	0	0	0	12	49

今注目の感染症

風しん

風しんは、風しんウイルスによっておこる、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。風しんウイルスは患者の飛沫（唾液のしぶき）などによって他の人にうつります。発疹のでる2～3日前から発疹がでた5日くらいまでの患者は感染力があると考えられています。

風しんの予防にはワクチン接種が有効です。定期予防接種の対象者（1歳、年度内に6歳、13歳、18歳になる方）は年度内に接種しましょう。

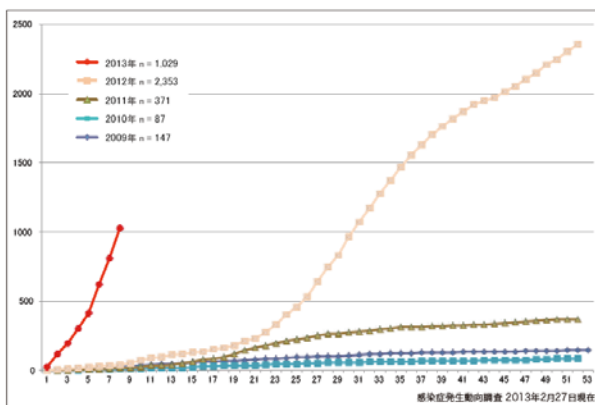
免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風疹症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。妊娠を希望する女性や、その家族などの成人も、風しんの罹患歴や予防接種歴がない、または不明な場合には積極的に風しんワクチン接種を受けることが勧められます。

平成25年の全国の風しんの報告は、第7週までに745例（2月20日時点）となり、平成24年の同時期と比較して約20倍となっており、特に関東地方において報告数が急増しています。

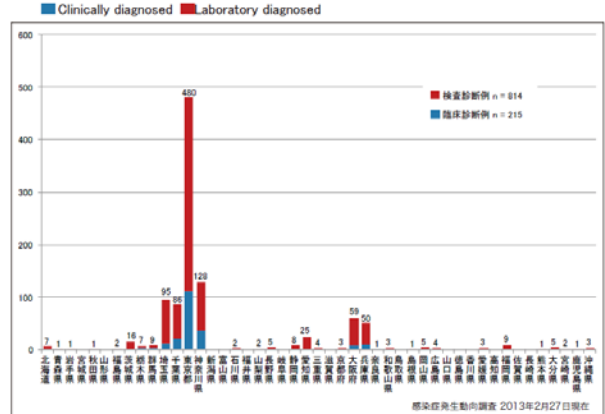
岩手県での報告数は、平成25年は1例届出になっています。

参考 国立感染症研究所 感染症情報センター「風疹」
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

1. 風しん累積報告数の推移2009～2013年 (第1～8週)
 Cumulative number of rubella cases by week, 2009-2013 (week 1-8)
 (based on diagnosed week as of February 27, 2013).



4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2013年 第1～8週 (n=1,029)
 Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis from week 1 to week 8, 2013
 (as of February 27, 2013).



国立感染症研究所 感染症情報センター

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

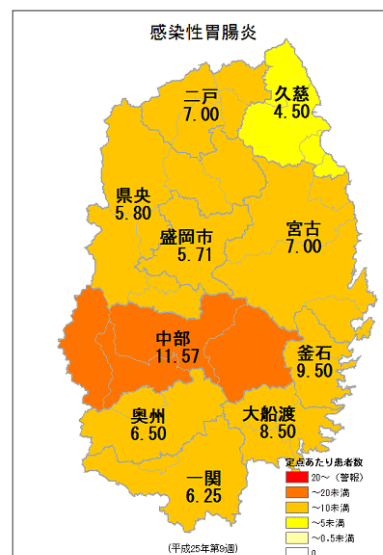
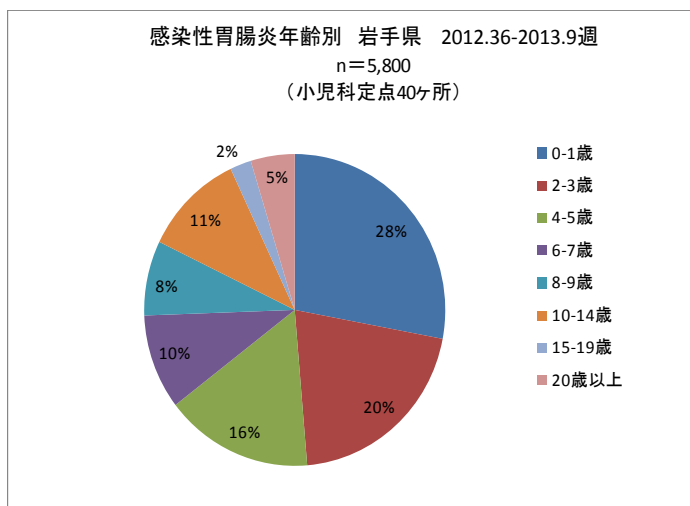
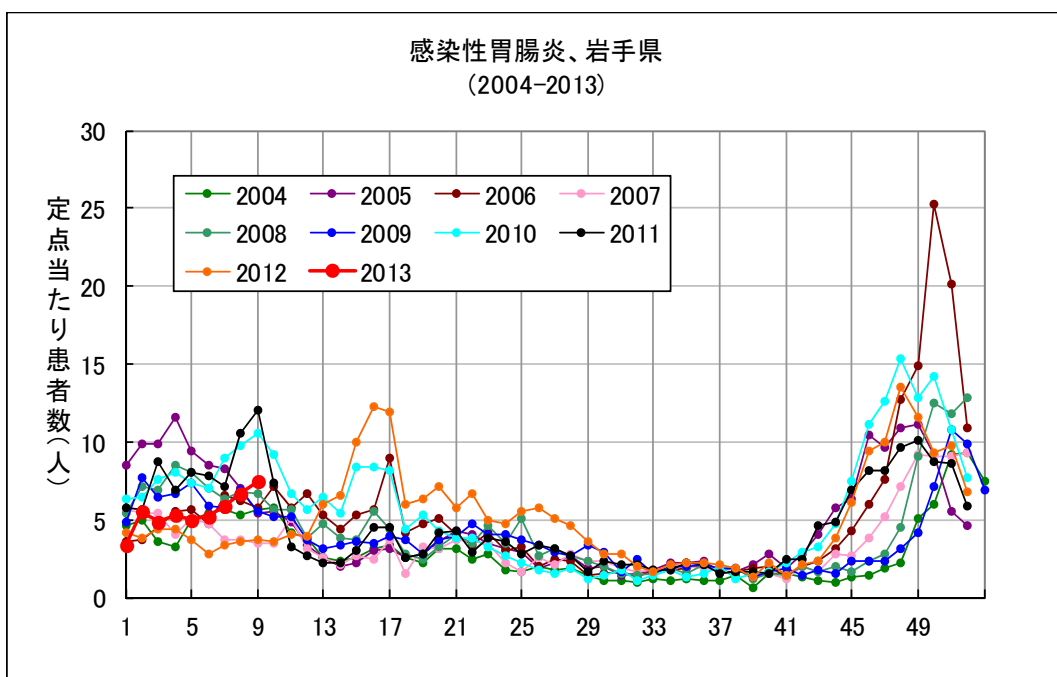
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いため、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、
「医療従事者・施設スタッフ用」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>



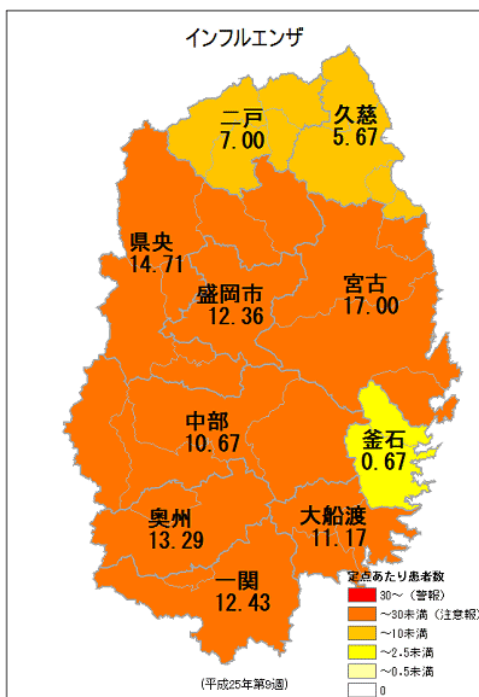
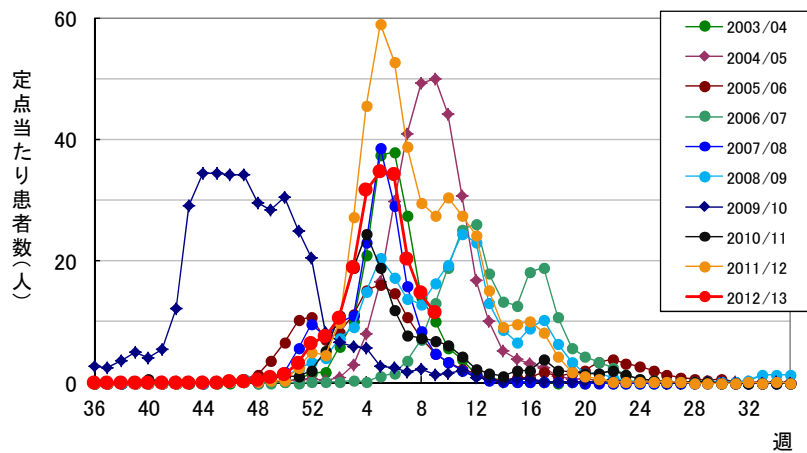
今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

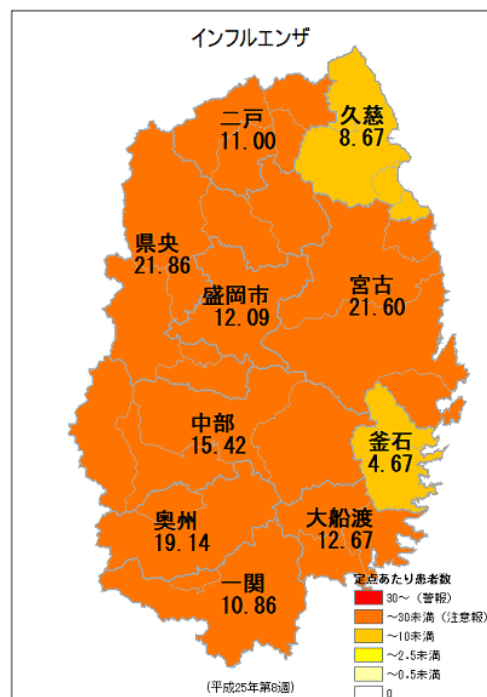
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。潜伏期間は1～3日間で、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続きます。約1週間ほどで軽快するのが典型的な症状ですが、いわゆる「かぜ」にくらべて全身症状が強く、重くなりやすい疾患です。症状がある場合や「かかったかな?」と感じた場合は、重症化を防止のため48時間以内の医療機関への受診が勧められます。また、発症後5～7日間はウイルスを排出するといわれており、熱が下がったとしてもすぐに登校(出勤)しない、咳・くしゃみなどの症状がある場合にはマスクをするなど、周囲への配慮が勧められます。

岩手県での今シーズンの発生状況ですが、第50週には流行の開始のめやすである定点あたり患者数1.0人を超えました。平成25年第2週には10.55人と注意報値(10人)を超え、第4週には31.63人と警報値(30人)を超えて本格的な流行の時期を迎えました。第5週に34.58人とピークを迎え、第6週から減少し第9週には11.55人となりました。

インフルエンザ、岩手県



第9週



第8週

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、A香港型インフルエンザウイルスが7例分離検出されました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、RSウイルスが2例、ライノウイルスが2例検出されました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、アデノウイルス3型が1例分離されました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の発生について (2月22日、2月25日発表分)

一関市内のグループホーム (利用者15名、職員18名)

- ・2月22日 (金) から2月28日 (木) にかけて13名 (利用者7名、職員6名) に症状 (嘔吐、下痢等)
- ・有症者4名中4名 (利用者2名、職員2名) からノロウイルスを確認

一関市内の養護老人ホーム (利用者70名、職員30名)

- ・2月24日 (日) から2月28日 (木) にかけて15名 (利用者12名、職員3名) に症状 (嘔吐、下痢等)
- ・有症者6名中4名 (利用者4名) からノロウイルス確認

遠野市の養護老人ホーム (利用者52名、職員40名)

- ・2月23日 (土) から3月4日 (月) にかけて16名 (利用者10名、職員6名) に症状 (嘔吐、下痢等)
- ・有症者4名中4名 (利用者) からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について (3月4日～3月7日)

- ・岩手県発表 12件
- ・盛岡市発表 1件

詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1&pn=3324&pn=4104>

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

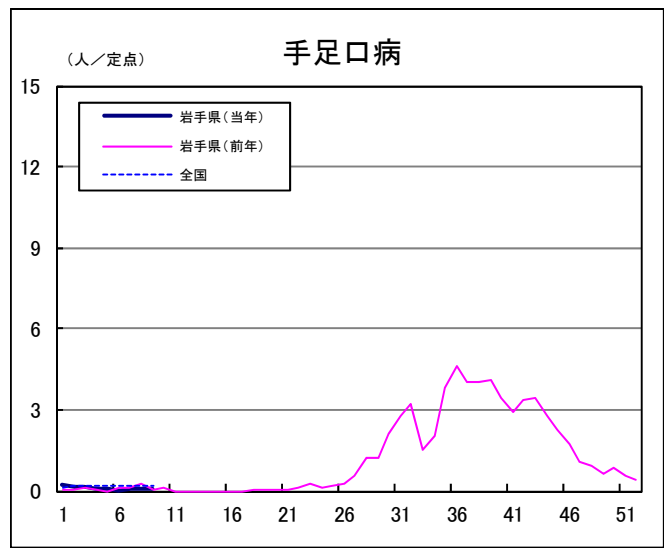
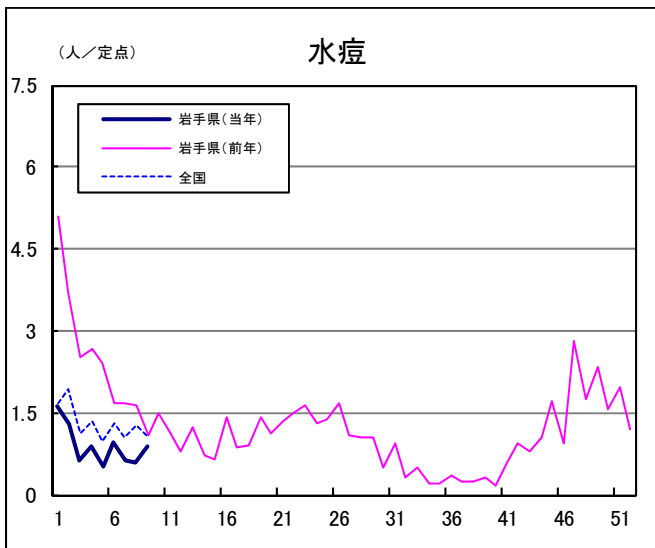
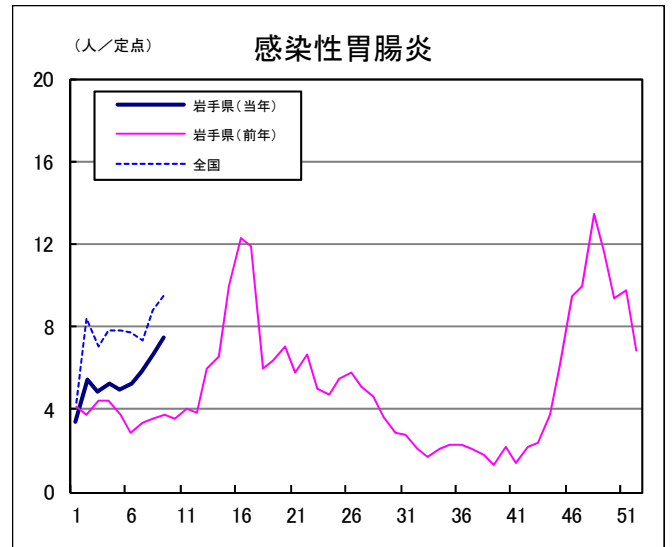
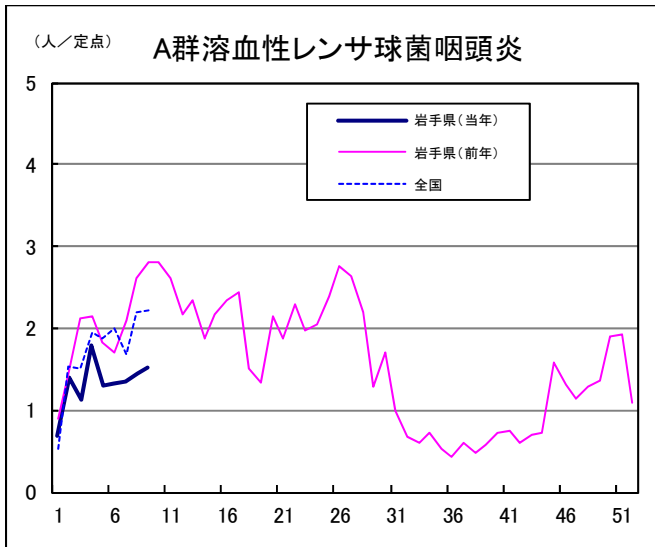
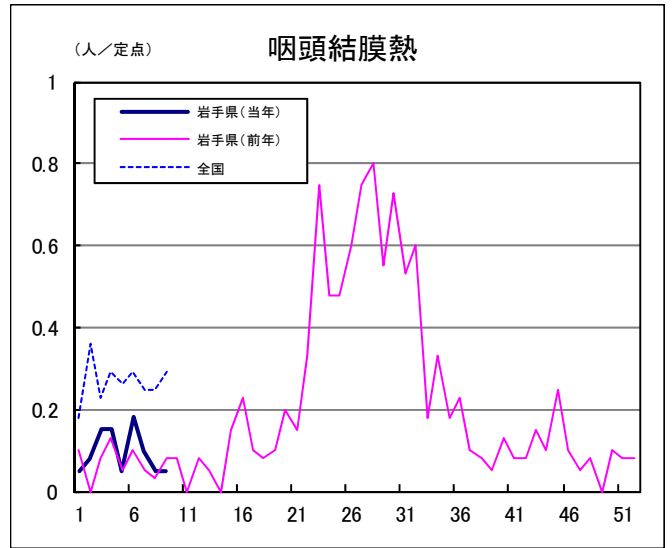
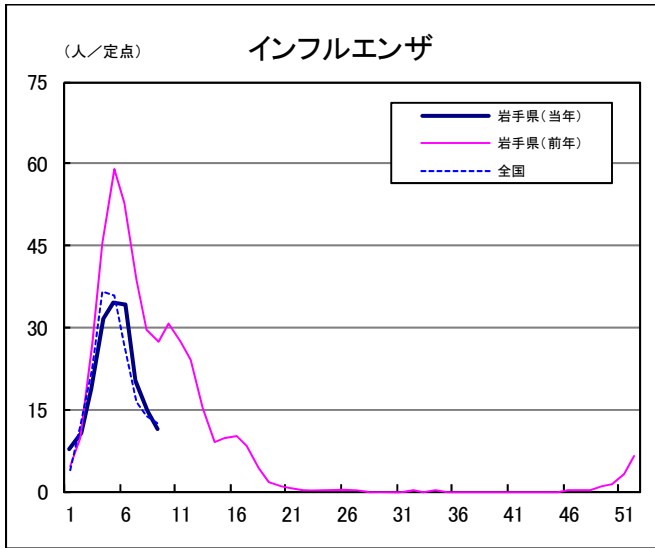
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

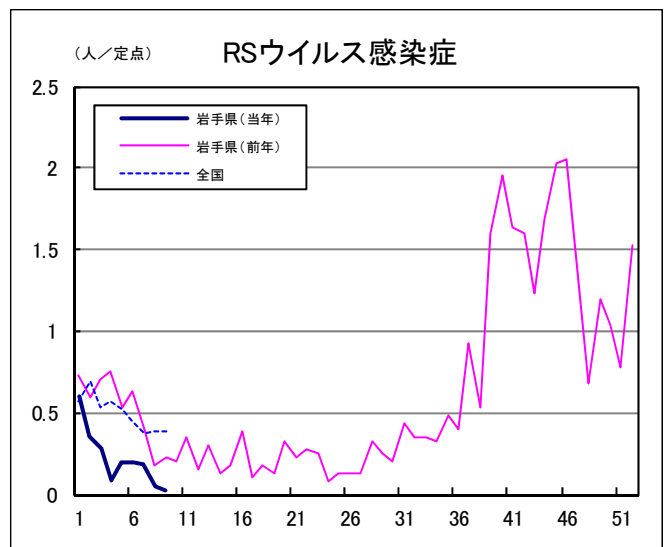
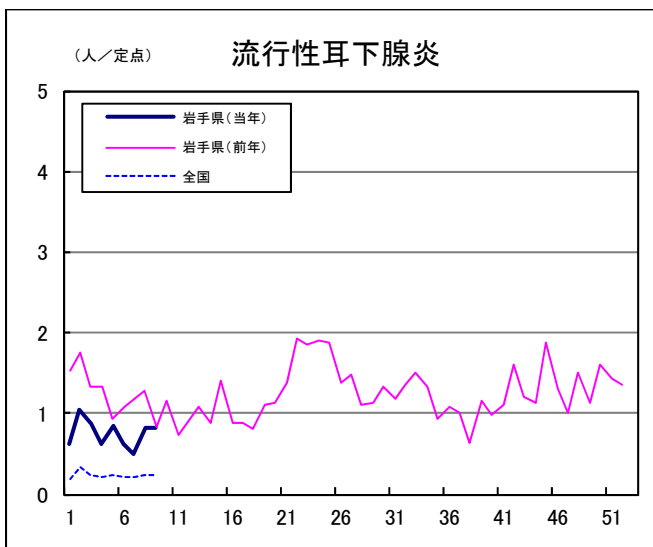
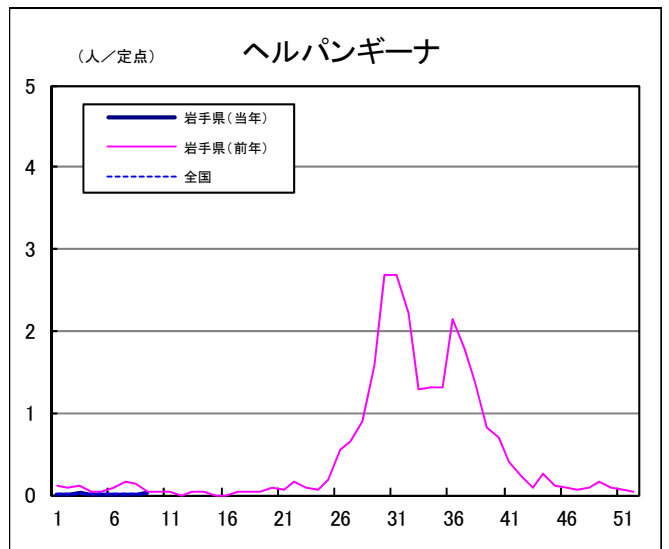
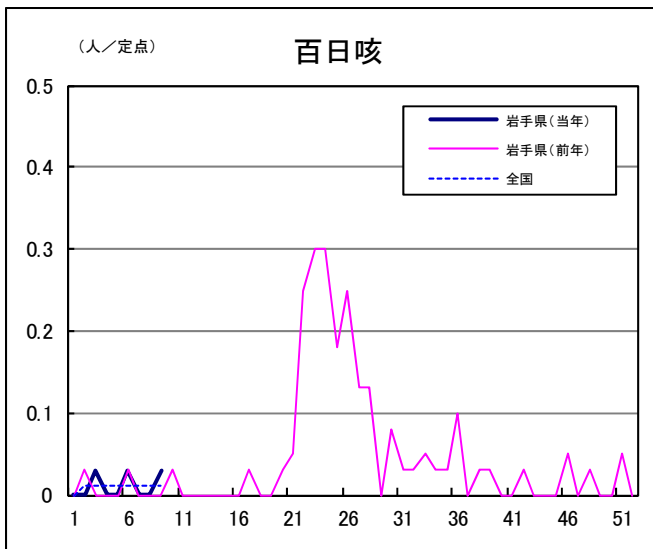
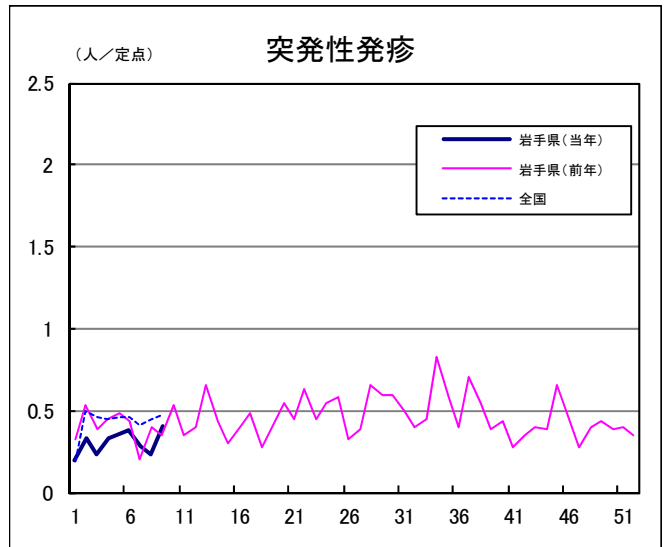
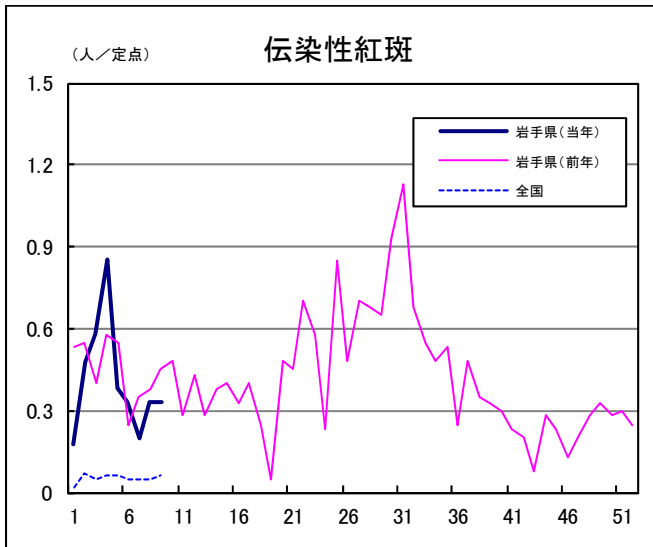
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

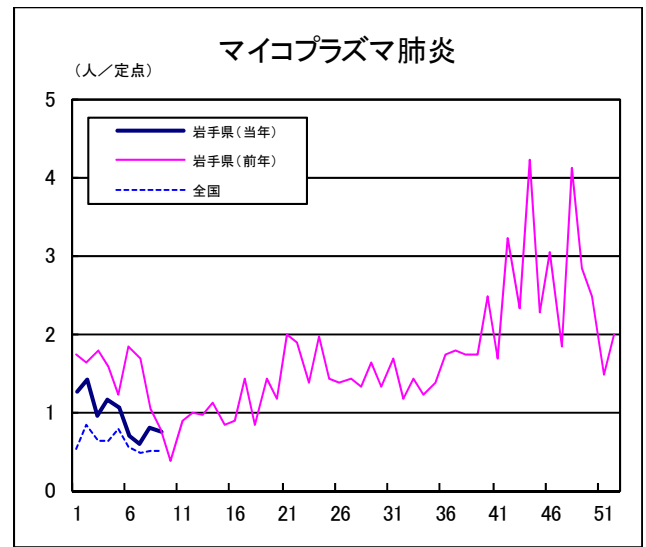
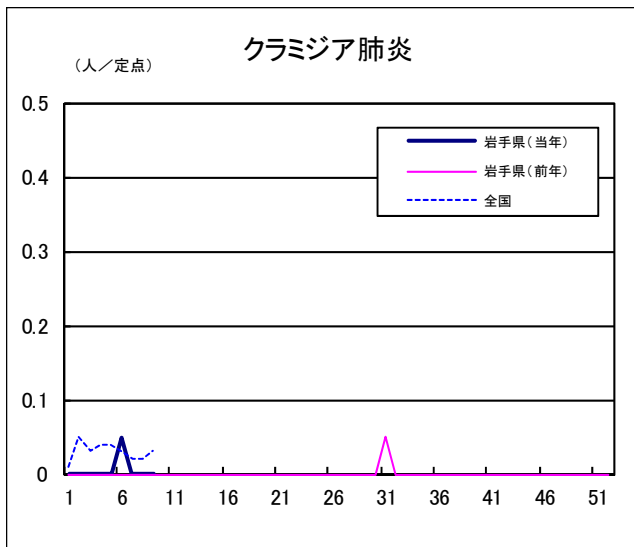
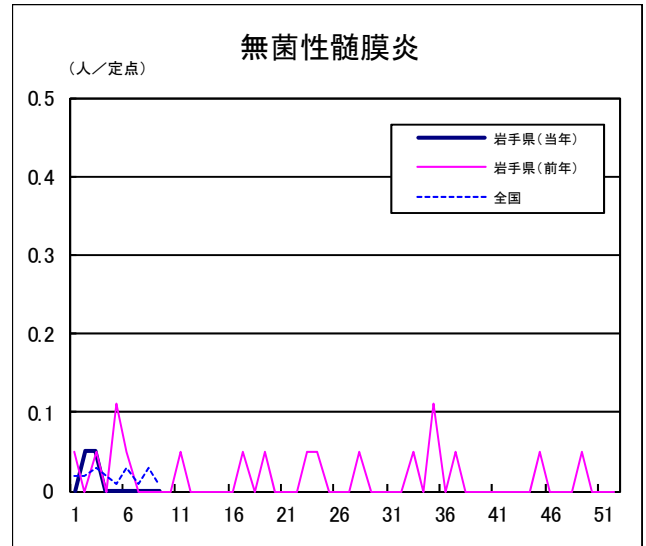
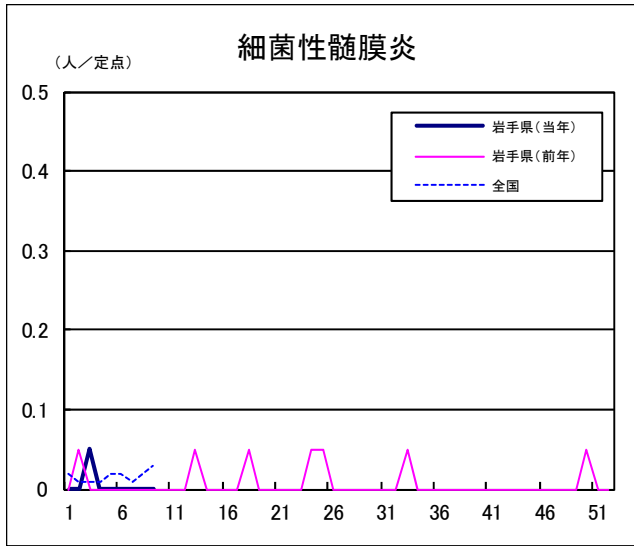
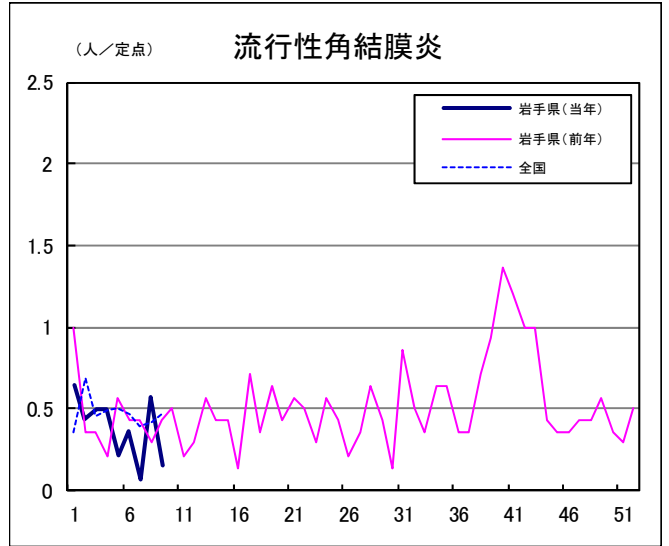
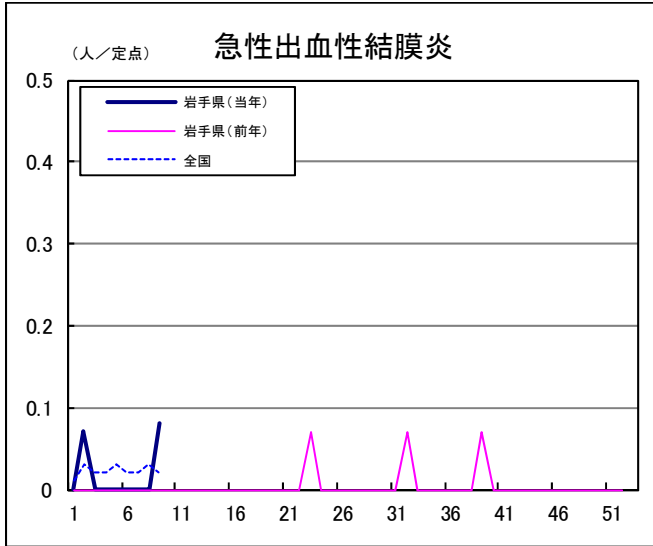
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		64	40	13	19
盛岡市		11	7	3	5
県央		7	5	2	0
中部		12	7	1	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第9週 平成25年3月8日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>